



令和7年成人式

祝成人

1月12日(日)に町民センターで、令和7年坂町成人式が盛大に挙行され、成人者97名が出席しました。

代表として選ばれた委員が幾度も成人式実行委員会を重ね、話し合いとりハールを繰り返しながら自分達で式典を作り上げました。式典終了後、出席者全員で晴れやかな姿と笑顔の中で記念撮影を行いました。会場では、恩師との再会を喜ぶ姿や、友達同士で思い出話や近況報告をする姿が見られました。

町木である梅の木をアサガミベイサイドパークに、事前に記念植樹しました。平成13年から始まった成人式に合わせて行われる梅の木の記念植樹は、今年でちょうど50本になります。2月になるとかわいらしい梅の花を咲かせます。新成人とともに成長する梅の木を見守りましょう。

【成人式実行委員】

氏名	主な役割
重高 壮汰	実行委員長 広報執筆
河手 壮太	実行副委員長
谷川 遼	実行副委員長
道上 萌花	式典司会
芳野 世莉	式典司会
茶林 愛実	ピアノ演奏
田本 朔也	誓いの言葉
見田 楓花	記念品贈呈
植野 菜乃華	記念品贈呈
村木 駿	お礼の言葉
三浦 葉鈴	広報執筆
矢野 依折	広報執筆
花房 駿丞	広報執筆

(順不同) 13名



▲成人式実行委員

お祝いの言葉

今年度、二十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます。また、保護者の皆様、大切に育ててきたお子様がこうして二十歳を迎えられたこと、重ねてお祝い申し上げます。

5年前、私は坂中学校に赴任したと同時に、皆さんと出会いました。第一印象は、「とてもパワーを持っている学年だな。」でした。と同時に、そのパワーをため込んでいたり、どうやって使ったらいいいのか悩んだり迷ったりしているのではないかと感じました。でも、それが中学生なのですよ。いろいろな悩みながら、立ち止まりながら、時には道に迷いながら、前に進んでいく。思春期の自分と日々葛藤しながら中学校生活を送る皆さんは、まさしく青春でした。

最高学年として後輩を引っ張りながら奮闘した体育祭。全員で大きな声を出し、心を一つにして演技した最終種目の坂中ソランは、見ている方々に感動を与えました。流した汗と涙、そして溢れる笑顔は、間違いなく持っているパワーを最大限に発揮した証でした。そしてもう一つの行事の文化祭。その中

広島県西部教育事務所
前田 大輔 (元3年1組担任)

でも合唱コンクールは、今でも鮮明に思い出すことができます。仲間がライバルとなった時、お互いを高め合える存在になり、持っているパワーを引き出し合っていくのだと実感しました。ただ、勝ち負けがある以上は、勝つクラスもあれば負けるクラスもある。そのような中でもお互いをたたえ合う様子は、勝ち負けよりも大切なものがこの世の中にはあると改めて感じました。

そして、卒業式直前、コロナという目に見えない敵が目の前に立ちはだかりました。ただ、皆さんは持っているパワーを正しく使い、自分の命を、家族の命を、仲間の命を、そしてどこかの誰かの命を大切にするための行動を考えました。

どんな状況でも命を大切にしながら前向きに進んでいく姿は、これからの人生において最も重要になることであり、それを身につけている皆さんは、最&高(↑3年1組学級目標)の人生を送っていきけること間違いなしです。これからの皆さんの活躍を心より応援しております。

二十歳の抱負

三浦 葉鈴



この度、無事に成人式を迎えられたことをとてもうれしく思います。二十歳を迎えるにあたり、長かったようで短く、大人への第一歩として身が引き締まる思いです。

思い返せば、中学二年生の時に西日本豪雨災害で自宅が被害に遭い、大変な思いをしました。生まれてからずっと住んでいた思い出のある家が生活できない状況でなくなったのを、私は見に行くことができず、私は始め家族が少しずつ復旧作業をしようとしばらく親戚の家に閉じこもっていました。そんな私を前向きにさせてくれたのは、復旧作業に来てくれた中学校の